令和７年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

都道府県名	17_石川県
市区町村名	17000石川県
自治体区分	都道府県

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状値の数	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）		目標等の公表先
17205珠洲市														
17206加賀市														
17210白山市														
17212野々市市														
17407中能登町	②学校と地域の課題		人材ボランティアは確保できたものの同じ団体や同じ方への依頼に偏りが生じた。また町内3小学校で授業の進行時期が重なることからサポート時期が集中し、負担がかかったり調整が課題となっている。	新規ボランティア発掘に向け、学校や事務局が連携して発信をしていく。町内3校間での情報共有し可能な限りサポート時期の重複緩和に努める。学校やボランティアと事前に調整を図り、負担のない状況に応じた柔軟な支援体制の構築に努める。	令和6年度においては見守りボランティアの参加呼びかけや人材サポートバンク制度の準備、制定を進めた。一方で依頼の偏りや支援時期の重複が見られたことから制度の周知と新規人材の発掘を進めるとともに情報共有や事前調整により柔軟な支援体制の構築を図る。	既存の人材の有効活用と情報共有の充実により特定の団体・個人への依頼の偏りや支援時期の重複が緩和され、持続可能な支援体制の構築が図られる。また地域との繋がりのが深まったことによりながら見守りなど見守り体制の構築	学校サポートに携わった人数および団体数。	37人19団体	その他	50人25団体	131人20団体	03 本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた	既存人材の活用と情報共有により以来の偏りや支援時期の重複は一定程度緩和された。また地域との連携の深化も見られた。一方で偏りや重複は解消されておらず、引き続き調整と体制の見直しが必要である。	https://www.town.nakanoto.ishikawa.jp/childcare_education_culturalproperty/8421.html
17386宝達志水町														

※行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。